

おおがわら

議会だより



第172号

令和6年8月1日

QRコードから議会の情報をご覧ください

大河原町議会



短冊に何かいた？

令和6年7月2日

(金ヶ瀬カトリック保育園)

小学生の議会傍聴	③
議案審議	④
委員会活動	⑤
全員協議会	⑥⑦
町政への提言	⑧
政務活動費	⑱
町民の声	⑳

町内小学校6年生が議会見学

社会科の授業の一環として、町内小学校6年生が毎年議会を傍聴しています。(コロナ禍を除く) 昨年度までは12月議会の傍聴でしたが、今年度より授業の関係で6月議会の傍聴となりました。全員が感想を提出し、その中から一部を掲載します。



私たちの未来のために議会は必要だと思いました。議会に参加してみたいと思いました。



話しているときの緊張感がものすごかったです。



町のことを真剣に話し合っていて、このように話し合っていると町ができていくんだと思いました。

ぼくたちが日々安全に生活できるのは議員さんたちのおかげです。真剣に考えてくださりありがとうございます。



みんなのQ&A

Q タイマーは何の役割を果たしているのですか。
A タイマーは議会の持ち時間が30分と決まっています。この30分は、町長や教育長が話す時間は含まれません。よって、その時はタイマーは止まっています。議員が話している時だけ動きます。なぜベルがなったのですか。
Q 質問の残り時間が5分、1分の時にベルを鳴らすことになっています。

こんな意見がありました

- 話し合いの途中でスマホでゲームをしている議員がいた。
- 寝ている議員がいた。
- 姿勢が悪い議員がいた。

このようなことは、絶対にあつてはならないことです。大変申し訳ございません。

小学生が目撃

議会中にスマホでゲーム

佐藤 貴久 議員

記憶にない 小学生が見たのなら認める

謝罪の言葉

議場でゲームをしたことは事実です。ただ本会議中にゲームをした事実は記憶にありません。しかし、複数の小学生が見たとおっしゃいます。私はその事実があったと認めます。今後は緊張感を持って、行動することをお約束いたします。皆様大変ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。申し訳ございませんでした。

これまでの経緯

月 日	内 容
6月10日(月)	町内小学校6年生が授業の一環で議会を傍聴。その際に佐藤貴久議員がスマホでゲームしていたのを目撃。他の議員が聞き、この旨を議長に報告。
6月28日(金)	小学生が議会傍聴の感想にゲームのことを記載。これを受け、議長が佐藤貴久議員に対し口頭で厳重注意。議会広報常任委員会は小学生の感想および厳重注意を行ったことについて議会だよりに掲載することを全委員一致で決定し、議長に報告。
7月 8日(月)	広報委員会を開催。議長が同席し厳重注意した旨を説明。議会だよりに掲載すること、厳重注意をした旨を議員全員に説明するべきと申し入れ、7月16日に全員協議会を開催することを決定。
7月16日(火)	全員協議会にて佐藤貴久議員より謝罪。辞職勧告決議を提出。

佐藤 貴久 議員 全員協議会で謝罪

各議員の意見

- 今後の出処はどう考えているのか。
- 記憶がないとは議員としてどうなのか。
- 記憶にない。認める。言っていることが二転三転。恥じるべきだ。反省しているのか。
- 全国の汗を流して頑張っている議員に対してどう思うのか。
- 出処進退は後援会と決めることではない。自分で結論を出すべき。
- ※都合により欠席した議員からも謝罪の要求が書面により提出されていた。

有志議員数名「辞職勧告決議」を提出

議員辞職勧告決議

- 提出者 丸山 勝利
 賛同者 山崎 剛、須藤 慎、佐久間克明
 高橋 豊、佐藤 暁史

内容

大河原町議会基本条例第21条第1項において、「議員は、町民の負託にこたえるため、高い倫理的義務が課せられていることを深く自覚し、町民の代表として良心と責任感を持って、議員の品位を保持し、見識を養うよう努める」と規定されている。(中略) 町民や子どもたちからの信用を著しく失墜させ、大河原町及び大河原町議会の名誉と品位を著しく損なわせることになった。よって佐藤貴久氏は事態の大きさを真摯に受け止め、速やかにその職を辞することを勧告する。詳細は臨時号に掲載。

議員任期後期2年の中期調査テーマ

総務産業
常任委員会

- ① 白石川右岸河川敷等整備事業
- ② 鷺沼雨水排水路について

文教厚生
常任委員会

各種団体、機関との意見交換及び現地視察

(所管事務調査に加え、議会力向上の取組みとして令和5年4月各常任委員会ごとに決定)

委員会
活動

報告5件、議案7件

可決

6月
会議

原案通り可決

今回の会議ではデフレ完全脱却のための総合経済対策において所得税と住民税で定額減税の補正。新たな低所得者支援給付金や不妊検査・治療費補助金、白石川の右岸活用イベント等活発な議論がなされた。

- 定額減税調整給付金 1億7400万円
 - 新たな低所得者支援給付金 3200万円
 - 不妊検査費補助金 55万円
 - 不妊治療費補助金 216万円
 - 白石川右岸活用イベント業務委託料 200万円
- (いずれも全会一致で可決)

条例改正

- 大河原町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について 政令の改正に伴う改正。
- 大河原町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について 会計年度任用職員に対する勤勉手当が適用になった。
- 大河原町下水道条例の一部改正について 責任技術者の専属規定が緩和された。
- 宮城県後期高齢者医療広域連合規約の変更について 被保険者及び資格証明書の字句を資格確認書等に変更。

4 常任委員会の所管事務調査は議会休会中に行われており、議案や予算として挙げられた大河原町の施策として町民の関心度の高い内容について実態を調査・分析し、問題点に対する改善策と対応等を導き議会に報告するものです。今休会中において、文教厚生常任委員会は活動はあるものの報告まで至らないため未掲載。議会公聴常任委員会は開催がないため未掲載。

総務産業常任委員会

調査日 令和6年5月10日(月)

調査事項 鷺沼排水区5号調整池について

令和5年に完成した鷺沼5号調整池(貯水量2万7000立方メートル)について担当課より改めて能力等説明を受けた後、現地視察調査及び現在施工中の鷺沼1号幹線(令和8年度中の完成予定)の現地調査、稗田地区に施工予定の3号調整池の現地視察を実施。

要点

- ① 5号調整池の工事が遅れた原因として軟弱地盤や地下水位が高いことから杭工事や調整池が浮力で浮かないようにアンカー工事が増えたこと。台風19号の被害もあったこと。
- ② 5号調整池は流入口が2カ所あり、柴田町大住町と現在施工中の鷺沼1号幹線から流入する。
- ③ 現在施工中の鷺沼1号幹線は既設水路との落差が75cmあり、水路面積が2倍になるため流下能力が格段に上がる。
- ④ 稗田地区の3号調整池は現在測量中で、令和10年度に完成予定。貯水量は1万1000立方メートル。



3号調整池予定地(稗田地区)



施工中の鷺沼1号幹線

報告

- 繰越明許費繰越計算書の報告について(一般会計)
- 予算繰越計算書の報告について(公共下水道事業会計)
- 専決処分報告について
 - (大河原町町税条例の一部を改正する条例)
 - (大河原町都市計画税条例の一部を改正する条例)
 - (大河原町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)



工事請負契約の締結について

大河原町立金ヶ瀬小学校・屋内運動場外壁ほか改修工事
契約金額 1億7314万円
契約の相手方 株式会社 栢建設



鷺沼5号調整池

まとめ

- ① 調整池底盤には常に水があり藻が発生するので定期的な清掃が必要である。
- ② 設置されているポンプは全自動ではあるが流入量の管理をしっかりとしてほしい。
- ③ 稗田地区3号調整池が令和10年度に完成予定なので稗田地区内の冠水被害のある地域から調整池までの水路整備に関して同時進行で進め、被害軽減に期待する。

全員協議会

おおがわら千本桜スポーツパークにおける賑わい交流拠点施設整備・運営に係る官民連携手法導入可能性調査結果

調査の目的

大河原町では白石川右岸河川敷を「おおがわら千本桜スポーツパーク」として都市公園に位置付け、マウンテンバイクコースや芝生広場、パークゴルフ場などを整備している。町では第二期整備としてスポーツパークを利用して、Wellbeing(ウェルビーイング)なまちづくり資する機能充実を進めるとともに「一目千本桜」の情報発信や伝承を行う空間形成として、スポーツパーク内に「賑わい交流拠点施設」の設置を検討している。「千本桜を千年先へ」を基本コンセプトとした新たな賑わい交流拠点を整備する基本設計を策定した。その実現のためには民間事業者の資金力や技術的ノウハウを活用し、ポテンシャルを最大限に引き出す必要がある。この調査では実現のためのスキーム、民間事業者の参画意向等から民間活力導入可能性を把握することを目的とする。



調査対象範囲

調査対象は賑わい交流拠点施設を含むおおがわら千本桜スポーツパーク全体とする。



事業手法の比較

広場、スポーツ系施設、管理棟、その他(駐車場等)に関してPFI手法(BTO方式)またはDBO方式が望ましい。収益施設に関してはPark PFIまたは施設管理許可とする組み合わせが望ましい。評価の詳細は左図のとおりとなっている。

対象施設	(凡例) ◎: 適している, ○: 実現は可能, △: 実現可能性は低い, -: 対象外	
	広場、スポーツ系施設、管理棟、その他(駐車場等)	収益施設
事業手法		
PFI手法 (BTO方式)	施設整備費の資金調達为民間負担となり、割賦支払いとなるため、町の財政負担の平準化が可能 ◎	付帯事業として、民間の独立採算による実施が可能 ○ 長期間での実施が可能 ○
DBO方式	施設整備費の資金調達が町負担となり、一括払いが必要となるため初期費用における町の財政負担が大きい ○	付帯事業として、民間の独立採算により実施可能 ○ 長期間での実施が可能 ○
Park-PFI	これら施設を特定公園施設として整備可能であるが、収益施設の収益の一部を還元するスキームのため、収益施設の採算性に影響を受ける 特定公園施設として整備が難しい場合は、別途事業手法との組み合わせが必要 △	収益施設の設置に係る特例措置を受けることができるため、設置管理許可に比べ、整備可能な収益施設の範囲が広い ◎ 収益事業としての採算性・安定性の面で他の事業手法より優れる ◎
設置管理許可	設置対象施設は収益施設のみであるため、別途事業手法との組み合わせが必須 △	都市公園に収益施設を設置するために広く活用されている制度であり条件等は整っている ◎ 収益還元が必須ではないため収益性によってはPark-PFIよりも有効である場合がある ◎

	賑わい交流拠点施設			ストリートスポーツ施設			
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
基本設計時	施設無し	多目的広場	遊具広場	バスケットボールコート	フットサルコート (屋根なし)	スケートボードパーク スケートボード施設を配置	ソフトボール場 (調整池)
変更後	第二駐車場西側にデイキャンプ場を追加 (張芝+トイレ+水場)	多目的広場に遊具広場を整備	キッチンカーペースに変更 多目的広場に移動 遊具変更	位置の変更	屋根付きしテニスコート用へ 位置の変更	3つのエリアに区分 ①フラットエリア ②パークエリア ③ストリートエリア	ソフトボール場の代わりに簡易的なスケートボードセクションを設置
施設整備費				工事費	約10.9億円		
				設計・監理費	約1.3億円		
				合計	約12.2億円		
維持管理・運営費(年額)				合計	約1.2億円		
※いずれも税抜金額							
経済波及効果分析	● 宮城県における、本事業によって発生する総合的な経済波及効果は約48億円と想定され、これは直接効果額の約1.5倍となる。						

モデルプランの検討と概算事業費の算定

賑わい交流拠点施設の施設設計について、計画のコンセプトを踏まえつつ近隣自治体や類似施設との差別化が可能な施設とするため、民間事業者の意向等を反映したモデルプランを検討した。検討の結果、基本設計時と比べ若干の変更があった。今後変更される可能性がある。

またモデルプランに基づく概算事業費も算定された。金額は右図のとおりとなっている。本事業によって発生する総合的な経済波及効果は48億円と想定される。

今後の課題

- **事業条件**
(事業の水準と適切な予定価格の設定等)
- **入札・契約方式**
(総合評価一般競争入札/公募型プロポーザル方式)
- **事業スケジュール**
(大規模事業評価実施期間の確保)

調査のまとめ

PFI手法(BTO方式)、DBO方式は民間の創意工夫・ノウハウの発揮、財政負担の縮減可能性等の面において優位であり、民間事業者の参画意向も確認できることから、本事業における官民連携手法の導入可能性は高い。今後は事業化に向け、収益事業の実施方法や事業条件等の事業スキームの詳細について検討を進める。

町政への提言 Q & A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどを問い質すものです。今回は9人の議員が行いました。

- 高橋 芳男 P 9
 - 子どもにやさしい町づくりについて
 - 軟骨伝導イヤホンの導入を
- 万波 孝子 P 10
 - 賑わい交流拠点施設整備について
 - 特別障害者手当について
 - 学校給食無償化実現の見通しは
- 佐藤 暁史 P 11
 - 佐藤屋の活用について
 - 学校施設等の防犯対策について
 - 下校時の熱中症対策について
 - 子育て支援などについて
- 中村 淳 P 12
 - 大河原駅前の今後について
 - 原子力災害時における石巻市広域避難計画について
- 丸山 勝利 P 13
 - 児童生徒の安全安心について
- 高橋 豊 P 14
 - 人口減少問題について
- 大沼 忠弘 P 15
 - 言語教育について
 - ゴミ処理について
 - カプセルトイレやトレーディングカードでまちのPRについて
- 山崎 剛 P 16
 - 町内一斉清掃日の変更を
 - 各種スポーツホームゲーム観戦チケットプレゼントについて
- 大沼 常次 P 17
 - 賑わい交流拠点施設整備・運営に係る官民連携手法導入可能性調査の結果から見た今後の基本計画の進め方について

内容は、大河原町議会ホームページ内の「インターネット議会配信」で視聴できます。
(<https://ogawara-town.stream.jfit.co.jp/>)
各一般質問の録画は、QRコードからご覧いただけます。



「子どもに優しい町づくり事業」に参加を

検討に至っていない

高橋 ユニセフが提唱する子どもに優しい町づくり事業は、日本では日本ユニセフ協会が中心となって推進している「子どもの権利条約」では、「生きる権利」「育つ権利」



事業の参加で子どもの権利の具体化を

「守られる権利」「参加する権利」の4つが柱とされている。この事業への参加を推進、検討すべきだと思いが、町長の見解を伺う。

町長 本町では「ペーパーファースト宣言」を基本とし、子どもを産み、育てやすいまちづくりの機運醸成にとりくんでいる。また「子どもの権利擁護研修会」として、「子どもの権利条約」の内容など、子どもに関わる職員が学ぶ研修会を企画している。ユニセフ提唱の「子どもにやさしいまちづくり事業」の参加については、現

在検討に至っていないが、こども家庭センターを中心に事業を展開し、子どもに優しいまちづくりにつなげていく。

高橋 従来の骨伝導イヤホンは難聴に効果が薄いとされ、新しく軟骨伝導イヤホンが注目されている。軟骨伝導イヤホンは軟骨部分に接触させるだけで使用でき、耳穴を塞がないため、屋外でも安心して使用できる。従来の骨伝導イヤホンは、耳の奥にある蝸牛に音を伝える仕組みのため、蝸牛自体や聴覚神経などが原因の難聴には対応できない。また、骨伝導イヤホンは振動素子を強く押しつける必要がある。軟骨伝導イヤホンはその弱

点を克服したもので、岸田首相も4月に改正される障害者差別解消法を踏まえ、「事例として周知する報告で考えてい」と述べている。本町の公共窓口などでも導入すべきだと思うが、町長の見解を伺う。

町長 軟骨伝導イヤホンは、耳が聞こえづらい高齢者等との窓口でのコミュニケーションの手段として有効である。一部自治体において窓口設置の試験導入を行っている他の自治体の利用効果などの検証結果、及び動向を注視していく。

ユニセフ



高橋 芳男

**学校等
防犯対策**

110番非常通報装置の導入を

各施設とも検討していく



佐藤 暁史

佐藤 緊急事態に対応する職員や教員は、児童や生徒の命を守りつつ自分の命も守らなければならない。心身の負担とリスクをどう考えるか。

教育長 対応する職員の心身の負担を少しでも軽減できるように、



緊急事態！ボタン一つで警察出動

大河原警察署と連携し訓練も取り入れる。パトロール強化も要請する。

佐藤 ボタン一つで警察に通報できる「110番非常通報装置」があれば、子ども達の命と職員や教員の命を守ることに繋がら

ないか。

教育長 他自治体の導入証し各施設とも検討する。

佐藤 武器を持った人間に対応できるのは警察官のみ。「すぐ呼べる110番」が皆の安全を守るのに有効ではないか。

町長 どこで何が起るか分からない社会状況。命を奪われることに繋がることについて対応する。情報共有しながら前向きに検討する。

町長 国の基準より低く保育料を設定。

佐藤 所得が上がると保育料が高くなる仕組み。物価高の影響がある中この基準に対して町の見解は。

町長 ママのおでかけタクシー券助成事業、赤ちゃん誕生お祝い事業など。第3子へは子育て応援出生祝い金、第3子以降小学校入学祝い金を町独自に実施。

佐藤 所得が上がると保育料が高くなる仕組み。物価高の影響がある中この基準に対して町の見解は。

佐藤 3子への経済的支援はどのようなものがあるか。

町長 子育て支援、第3子への経済的支援はどのようなものがあるか。

教育長 観光資源として観光資源について当主と話し合う。

町長 3年生までの利用登録が多く正しい情報が伝わっていない。周知徹底に努める。

佐藤 長期休業中の児童クラブで、昼食提供について進捗はあったか。

町長 お弁当注文システムのアプローチ、町内事業所へ意向調査を実施した。

町長 3年生までの利用登録が多く正しい情報が伝わっていない。周知徹底に努める。

佐藤 長期休業中の児童クラブで、昼食提供について進捗はあったか。

町長 お弁当注文システムのアプローチ、町内事業所へ意向調査を実施した。

佐藤 第3子の保育料無償化に「未就学児でかつ同時に施設を利用」という条件がある。この同時利用について町の見解は。

町長 第3子には保育料以外の支援がある。引き続き現行の軽減制度を運用する。

佐藤 放課後児童健全育成事業の対象は6年生まで。しかし3年生までと捉えている保護者もいる。その要因は。

町長 3年生までの利用登録が多く正しい情報が伝わっていない。周知徹底に努める。

佐藤屋の活用

佐藤 佐藤屋をコスパレやブライダルフォトの撮影場所として貸すなど、新たな活用を模索してはどうか。

子育て支援など

佐藤 子育て支援、第3子への経済的支援はどのようなものがあるか。

町長 ママのおでかけタクシー券助成事業、赤ちゃん誕生お祝い事業など。第3子へは子育て応援出生祝い金、第3子以降小学校入学祝い金を町独自に実施。

佐藤 所得が上がると保育料が高くなる仕組み。物価高の影響がある中この基準に対して町の見解は。

町長 国の基準より低く保育料を設定。

一般 質問

賑わい交流 拠点施設

令和10年オープン予定の賑わい交流拠点施設（5・6ha）の青写真が6月1日付広報に初めて掲載された。施設整備費約12・2億円（税抜）、施設維持管理・運営費年額1・2億円（税抜）。町や議会は町民に丁寧に説明し声や意見を計画に反映させていく責任がある。

か、いろいろな等しい声がある一方、水遊び場やこじゅうろうキッズランドのような施設がほしい等の声もある。

町長 ホームページで23人から声が寄せられ8割が肯定的。水遊びは河川敷の方に、こじゅうろうキッズランドのような屋内施設は考えられていない。

万波 施設について各集会所等で丁寧に説明し、多くの町民の生の声を聴く場を保障すること。アンケート調査の実施を求める。

町長 役場と金ヶ瀬公民館で住民懇談会を開催し意見や感想を伺う。アンケートの実施は考えていない。

万波 意見集約のタイムリミットは、令和7年度に参画事業者を決定する必要がある、今年中に施設内容を決定する。

障ること。アンケート調査の実施を求める。

町長 役場と金ヶ瀬公民館で住民懇談会を開催し意見や感想を伺う。アンケートの実施は考えていない。

万波 意見集約のタイムリミットは、令和7年度に参画事業者を決定する必要がある、今年中に施設内容を決定する。

特別障害者手当は20歳以上で著しく重度の障害状態にあり日常生活に常時特別の介護が必要な人に月額2万8840円支給される国の制度である。要介護3以上の人も受給可能があると言われている。

万波 申請が必要だが受給状況は。該当者が1人残らず受給

集会所等で丁寧に説明を

役場と金ヶ瀬公民館で実施



万波 孝子

できるような環境は。

町長 令和6年3月末現在14名。介護3以上は3名。わかりやすい案内チラシを作成し、ホームページ等で周知を進めていく。

**小中学校給食無償化を
決断すべき**

万波 学校給食無償化を実現する会は町長に1604人分の署名を提出。角田市、山元町は4月から完全無償化を始めた。今や



さまざまな意見が出された

実施自治体は全国に広がっている。町内でも要望する声が高まっている。県に補助を求め保護者の教育費負担軽減のために決断すべき時期に来ていると思うが。

町長 国では6月中旬に全国調査をまとめた上で検討するとしている。結果を見て判断するがやらないわけではない。いずれしっかりと回答を出す。

一般質問

駅前混雑緩和

ロータリー活用策は

おしらせばん等で周知



中村 淳

ける。人数は、避難所の施設面積を基に算出されたもので、詳細は県により調整があると捉える。

中村 受入住民の児童、生徒の受入は、

町長 当計画は、住民の広域的避難を安全・確実に行う基本的事項で、学校継続等は含まない。今後、石巻と協議されると考える。

中村 大河原町も被害を受けると考えられるが、重複する避難所対応は、

町長 地元住民優先。県の災害対策本部が調整する。

中村 知事は女川原発2号機の再稼働に際し、「立地自治体及び県内の周辺自治体の首長の意見を伺い総合的に判断する」と発言していたが、町長の回答は、

町長 エネルギーの安定供給と様々な課題の克服を前提に、立地自治体が容認するのであれば、否定する立場ではない。

大河原駅東口にロータリーが整備されたが、送迎の車は西口に集中し、交通障害が生じている。改善策の立案等を踏まえ、以下質問する。

中村 ロータリー設置の目的はなにか。

町長 舗装の劣化及び、原則、送迎車は場内進入禁止の為、路上駐車多発、これらの解消が目的。

中村 積極的活用がない理由の分析と、

西口混雑緩和のために送迎車を東口へ誘導する策は、

町長 西口利用者にとつて東口に回る手間や、自由通路の利用に不便を感じると考える。現在西口の改修は困難なため、オーガの駐車場利用や東側ロータリーの活用をおしらせばん等で周知していく。

中村 駅利用者の動向等実態を分析し、住民サービス及び駅前

の活性化に繋げる計画は、

町長 現在は計画していない。

中村 船岡や岩沼のように自由通路からホームに降りられると、東口利用の向上に繋がると思うが、

町長 東口利用者が飛躍的に増加する等変化があればJRを説得する理由となるが、現時点では難しい。

原子力災害時の避難者受入れ

中村 「原子力災害時における石巻市広域避難計画」で大河原総合体育館が1300人の受け入れ先になっている。実際に受入可能か。また、詳細は石巻市と整合されているか。

町長 総合体育館は避難所受付ステーションを兼ねており、町内各避難所に振り分



整備された東口

少子化の中、国においても異次元の少子化対策を打ち出し、子ども、子育て政策を最重要課題と位置付けた。

少子化が進み人口減少が避けられない中、児童生徒が安全で安心して生活できる、成長できる環境が不可欠だと思われる。しかしながら児童生徒を狙った事件や事故に巻き込まれる事案が発生している。

丸山 小学校で2年生の男子児童が給食時の消毒の薬品を原液のまま首にかかってしまい火傷を負ってしまった事故に対して、児童への事故後の対応

は適切に行われたか。児童から教員に訴えがなかったため事故に気付くことができなかった。

教育長 児童から教員に訴えがなかったため事故に気付くことができなかった。

丸山 本来であれば水の入ったバケツに「塩化ベンザルコニウム」を教員が入れる手順になっていたのに、教員がバケツに原液を先に入れたため児童が薬品による火傷を負ってしまった完治するのに一カ月半もかかった、児童の体調の変化に目配りや気配りがあれば、早く気づいて処置すればひどくならなかった。また、いじめなどの早期発見にもつ

なかる。

教育長 今年度町長部局の理解により、特別支援員3名の増員している。子供一人一人に目が届くように教員の補助として増員している。

丸山 先生にも責任の一端はある、保護者から不信任を抱かれないためにも、こまめに保護者と連絡を取るべきではなかったか。せめて児童が治るまで連絡帳などで学校の様子などを保護者に連絡すべきではなかったか。

教育長 保護者と信頼関係を崩さないように、一層増していくようにしたい。そのためには日ごろの子どもたちの様子を家庭に丁寧伝えるのが大事だと思う。今回は火傷の経緯の把握に時間がかかってしまい、後手後手に回ってしまったため保護者から不信任を持たれてしまった。今後は何か起きたらすぐに連絡をとるか、その後の状況を知らせるなどこまめな連絡体制をとる。



当日



1週間後



6月7日時点

学校

児童に目配り気配りを

生活の面でも目をかける



丸山 勝利



一般質問

人口減少問題

広域連携で取り組みを

本町が果たす役割で連携



高橋 豊



と連携を図りながら、東京圏からの移住定住希望者に丁寧に対応する。

高橋 人口減少の問題は行政サービスの低下につながる。自治体間格差是正の為に広域的な合併や連携が必要になると考える。将来を見ずえた取り組みについて伺う。

町長 少子化による出生、地域経済力の低下、

税収の減少、社会保障費の増大、公共施設の老朽化対策など、人口減少により自治体の課題が山積していく中で、本町だけが維持できればよいという立ち位置ではなく、広域連携において本町が果たすべき役割ポテンシャルを發揮し、これからの難局を各市町とともに乗り越えていくことが、課題解決に対する現在の私の考えである。

国土交通白書2020によると、日本の総人口は2008年（平成20年）の1億2808万人をピークに減少に転じている。人口減少は地方自治体に大きな影響を及ぼしており、その対策が急務である。本町も現在急激な人口減少ということには至っていないが、今後は減少する予想となっている。

関連のサービスが縮小され公共交通機関の縮小。空き家や空き店舗など放棄された土地が増加する等、さまざまな問題につながる。本町の対応について質問する。

後国が進める政策・施策を共に進めながら、健康で幸福に暮らせる日々の継続を目指す「Well-being（ウェルビーイング）なまちづくり」を乳幼児から高齢者まで全ての住民に展開すること、人口減少の緩和につなげていく。

町長 大河原町企業立地促進条例を創設し、企業の誘致に努めてきた。その中で町民の雇用に対し雇用促進奨励金を交付している。今後も新たな企業誘致を推進していく。



出産、子育て支援で人口減少問題を解決

高橋 少子高齢化問題に対する取り組み、今後の方針は。

町長 「こどもまんなか社会」の実現に向け「こども家庭センター」を設置した。今

高橋 人口減少対策に必要である。これまでも実績や今後の方針は。

町長 宮城県から補助金を受けた移住支援金を交付している。宮城県・仙南地域市町

積極的に検討すべき

電子書籍導入は

言語教育



小中9年間使う教材は電子化を

大沼 学校図書や、本棚等の更新は、

蔵書数が増える予定なので状況を再確認し、必要に応じて整備。

教育長 司書や教職員だけでなく、児童生徒の要望も広く取り入れる。本に興味・関心を持ち、本を手にするきっかけをつくりたい。本棚等の更新は、

大沼 学校図書司書の配置等については理想の状況となっているか。

理想を言えば各校1名ずつ配置できればと思うが、貸

教育長 理想を言えば各校1名ずつ配置

出実績からも適正な状況にあると考えている。

大沼 電子書籍導入についての見解は。

教育長 児童生徒に1人1台端末の環境が整備されたことにより、今後電子書籍の活用は積極的に検討すべきと認識。先進導入自治体の状況などを確認の上取り組みを進めていきたい。

大沼 コロナ禍で衣類等回収事業も中断されたが、再開となった。本年度は別々に春に小型家電類、秋に衣類となっているが次年度以降回収数を増やす考えは。

町長 小型家電類は役場庁舎1階の小型家電回収ボックスで常時回収しており、衣類については、綿50%以上の布類は指定土曜日に、通常のゴミ集積所で回収していることから開催回数をふやすことは現在考えていない。

町長 本町においても、ゴミ処理の処分費用や価値などの可視化を考える。

大沼 本町においても、ゴミ処理の処分費用や価値などの可視化を考える。

町長 カプセルトイレを設置する場合は、観光物産協会主導のもと、協力して事業に取り組むことが想定される。トレーディングカードについては仙南圏の自治体を含めた範囲、または宮城県内を範囲として広域的に実施することで、より効果的な事業になるものと捉えている。近年、自治体や民間事業者においても関心がもたれており、地域に訪れる観光客等に対するPR効果が高く、また、地域に愛着を持つ住民にとっても魅力的であると捉えており、その活用や他自治体の事例等について、調査研究していく。

町長 宮城県から補助金を受けた移住支援金を交付している。宮城県・仙南地域市町

高橋 移住定住の支援としてこれまで実績や今後の方針は。

町長 宮城県から補助金を受けた移住支援金を交付している。宮城県・仙南地域市町

高橋 人口減少対策に必要である。これまでも実績や今後の方針は。

町長 宮城県から補助金を受けた移住支援金を交付している。宮城県・仙南地域市町



大沼 忠弘



まちのPR

大沼 地元のカプセルトイレ（ガチャガ

チャ）や仙南圏の自治体も含めた範囲でトレーディングカードを企画、展開して、まちのPRにつなげてみては。

一般質問

町内清掃

一斉清掃日の変更を

受入日が第3日曜日のみである



山崎 剛



ツを活用したまちづくりのプロジェクトになるのではないかと。プロスポーツ観戦チケットをより多くのご家族へプレゼントする考えはあるか伺う。

町長 プロスポーツの観戦など、ハイレベルな技術を観ることは各種スポーツ大会で上位を目指す選手やプロを志す子ども達にとりまして大変貴重な機会であると捉えている。在仙プロスポーツチームと連携を深め、チケットプレゼント等の協力をいただけないか働きかけを行う。プロスポーツに限らずレベルの高いスポーツ競技もあることから試合の観戦に限らず幅広い分野で応援・支援をしていく。

山崎 5月19日(日)は町内一斉清掃日があった。前日は町内3小学校の運動会があったが子ども達は疲れも見せず、親子で清掃を手伝った。親同士の会話の中で「どうして、運動会の翌日に町内清掃日を設定されているのか」「運動会が終わった翌日は家族でゆっくり日曜日を過ごしたい」「町内清掃日を前の週か次の週に変

更できないか」の要望を受けた。来年度の町内清掃日の変更はできないか伺う。

町長 清掃を通じて、町民の環境美化に対する意識醸成を目的に毎年、春と秋の2回、開催している。参加者は3000人を超え、多くの子ども達も参加していると認識している。一斉清掃当日各地区で集められたごみを搬入する仙南クリ

ンセンターの受入日が第3日曜日のみとなっている。

プロスポーツ観戦招待

山崎 町長の施政方針を活用したWell-being(ウェルビーイング)なまちづくりで町民誰もがスポーツに親しむことができ、環境づくりや健康増進、スポーツを通じた

交流の創出や地域活性化のための取り組みを推進します。各種スポーツ大会、スポーツ教室を実施するとともにプロスポーツ関係団体との連携により、町民がハイレベルなスポーツに触れる機会を創出します。」とある。子ども達の夢、そして町民がハイレベルなスポーツに触れる機会を創出するのがスポーツ



清掃活動で町がきれいに(河川敷清掃時の写真)

施設の維持費は

年額1億4,000万円を想定



着々と盛土工事が進められている

大沼 事業性がないとされた事業を今後、どのように進めていくのか。

町長 独立採算では困難だが、町から

の財政支援を行う形で進めていく。
大沼 基本コンセプトもいろいろ、最優先に考えるべきは「いかにして賑わいを創るか」ではないか。

町長 平日はフットサルコートを中心に、日中は各種事業の開催や個人での利用、夜間には照明設備を設置することにより、放課後のサッカースクールや社会人の利用があるものと想定している。

町長 他に有料施設の受付、屋外トイレ、防災備蓄倉庫などの機能を計画している。

大沼 今回、この調査には一千万円の経費をかけて行った。それだけの価値のある調査だったのか。

町長 この調査は民間事業者のヒアリング調査、周辺住民のモニターアンケートを実施し、町が示した素

町長 「校」と「スポーツ」はどちらとも大切な視点、キーワードであり、このコンセプトのもとで計画を進めていく。
大沼 アーバンスポーツと呼ばれる施設でもって、平日の利用者もさることながら、休日でも利用料を払ってまで利用者がいると想定しているのか。

大沼 建屋(交流施設)には、目下本校関連の展示、レンタサイクル、カフェブースという構想は聞いていたが、この程度の内容では到底集客は望めないのではないか。この施設に来ないと、買えない、味わえない、体験できない等、人を引き付ける魅力がなかったら、賑わいを創り出すことは困難である。他にどんな機能を持たせるのか。

大沼 この計画を役場の幹部職員のみならず、全体的にも検討され、全ての項目において「必要である」「適切である」という結論に達したとある。この会議に参加した幹部職員の中で多少なりとも懸念される事項を抱えている職員はいなかったのか。

町長 内部評価委員会において、今回の調査結果を受け、評価観点の項目ごとに協議を行い、全会一致で内容を了承したものである。

賑わい交流拠点施設



大沼 常次

行政視察

議会広報常任委員会6名が6月26日、27日に議会だより誌面の工夫ある内容や町民参加型のスタイルに取り組むなど、先進地である茨城県阿見町議会、茨城県大洗町議会にて視察研修を行い、非常に内容の濃い研修となった。

議会広報常任委員会

調査事項 議会だより作成に関わる先進地視察研修

① 茨城県阿見町

特徴 平均20ページフルカラーで年4回発行。デザイン作成業務と印刷製本業務に分けて業者委託している。議会モニター制度を導入していた時期もあるが、目先の修繕依頼や前向きではない意見が目立ち目的を達成できないと判断し断念。写真を多く採用し、議員の活動結果アピールの場ではないとの共通認識を図っている。一般質問は1ページに2名掲載している。

② 茨城県大洗町

特徴 定例会閉会後1か月のスピード発行。16ページ以内のフルカラーで年4回発行。プラスして視察研修や議会報告会について特別号を発行し全議員の報告書を掲載している。また、議会クイズのコーナーや「まちの子育て支援・制度皆さんの声」を委員がアンケート調査し掲載したものが受賞。

まとめ

今後、段組みやフォント、余白を工夫し読みやすく、写真を増やし理解しやすく、コメントや特集記事で町民参加ページを増やし手に取る機会を増やす工夫も行う。議場傍聴以外の見る機会の提供にも努める。



茨城県大洗町



茨城県阿見町

政務活動費

このように使われました

政務活動費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として、議員1人当たり月額5,000円を会派に交付しています。

令和5年度政務活動費支出状況

[単位:円]

会派名	議員名	支出総額	収入		返還額
			町からの交付額	内訳 自己負担額	
「がわら」の会	高橋 豊	443,400	360,000	83,400	0
	山崎 剛				
	丸山 勝利				
	須藤 慎				
	佐久間 克明				
巖 会	秋山 昇	191,440	180,000	11,440	0
	佐藤 巖隆				
一心会	大沼 忠弘	121,954	120,000	1,954	0
	佐藤 貴久				
日本共産党	万波 孝子	61,855	60,000	1,855	0
公明会	高橋 芳男	60,977	60,000	977	0
フォーラム333	大沼 常次	93,134	60,000	33,134	0
新政会	中村 淳	60,977	60,000	977	0
合計		1,033,737	900,000	133,737	0

《政務活動費支出の内訳》 調査研究費(視察等研修費用)/広報広聴費(新聞等の発行費用)

《調査視察研修の主な内容》

- 「がわら」の会 愛知県名古屋市 「水辺活用について」
- 奈良県橿原市 「クビアカツヤカミキリが桜樹に及ぼす影響などについて」
- 大阪府太子町 「桜樹被害状況について」
- 巖 会 愛媛県今治市 「サイクルツーリズム先進地 しまなみ海道について」
- 愛媛県宇和島市 「宇和島伊達藩初代家老山家清兵衛について」
- 一心会/公明会/新政会 徳島県上勝町 「ゼロ・ウェイストについて」
- 香川県多度津町 「デジタル地域通貨『どっつ』について」

こんな町に住みたらしな



大河原小学校6年 阿部 悠希さん

ぼくが住みたい町は、活気がある町です。「こんにちは」「元気?」と住んでいる人達がお互いを気にかけて、元氣なあいさつがあふれているとすてきだと思います。



大河原小学校6年 持田 紗那さん

わたしは、近所に赤ちゃんが産まれたら、同じ地区の人たちがたくさんのおプレゼントを持って祝いに来るような、思いやりのあふれる町に住みたいです。想像した町の姿に近付けるために、自分の家族の誕生日だけでなく、友達や親戚など、身近な人の誕生日も祝ってみたり、誰かが大変そうなどときには、一緒に手伝ったりしたいです。町のみんなが、小さなことでも他人事ではなく、自分事として考えていければ、もっと良い町になると思っています。

頑張っている大学生

祝 第73回 全日本大学野球選手権大会出場

仙台大学硬式野球部が令和6年度仙台六大学野球春季リーグ戦で見事優勝し全国大会へ出場。大河原町在住の阿部さん、今野さん、二人がスタメンで大活躍でした。6月10日から神宮球場・東京ドームを会場に開催され、一回戦、星槎道都大学(北海道)に9対0で勝利、二回戦、九州産業大学(福岡)に延長(タイブレーク)の末、4対5で惜敗。秋の大会も全国大会目指して頑張ってください!



あべ そうたろう 阿部 蒼太郎さん 仙台大学4年生 大中野球部→柴田高校野球部→仙台大学野球部



こんの はるき 今野 悠貴さん 仙台大学1年生 仙台ボーイズ→東陵高校野球部→仙台大学野球部

※いつもは、「頑張っている子どもたち」ですが、18歳から成人となるため今回は、「頑張っている大学生」として掲載しました。

編集後記

今年は例年より遅い梅雨入りとなり、梅雨前の暑さも異常なほどで地球沸騰化と言われるのも納得せざるを得ない異常気象となってきました。異常気象で心配されるのが白石川などの水害です。線状降水帯などの集中豪雨により河川の氾濫、浸水が心配されます。賑わい交流施設の建設に對しての提内地理め立てを白石川の浚渫土や中州の撤去で埋め立て、また、雑木の撤去で水害対策を行うように提言しています。

丸山 勝利

編集発行責任者 岡崎 隆

議会広報常任委員長 佐藤 暁史

副委員長 佐久間 克明

委員 中村 淳

委員 高橋 豊

委員 須藤 慎

今回の表紙は



今回の表紙は、金ケ瀬カトリック保育園で行われた七夕飾り付けの様子です。「笹の葉さらさら。軒端にゆれて…」に飾りつけしました。「五色の短冊。私が書いた…」年長クラスのみんなは、どんな願いを書いたのかな。年長さんにとって最後の七夕。願い事が叶うといいね。

(中村 淳)

9月議会のお知らせ
 招集日 9月22日(月)・再開日 9月30日(金)
 詳細は議会事務局まで 053-2333-2800

町民の声

子育てや町に望むことを
お聞きしました。

プロフィール

さとう みほ
佐藤 美帆さん (上川原区)
白石市出身
【家族】夫 子ども4人
6人家族

大河原町に住むこ
とになった経緯

結婚当初は関東に住んでいましたが、出産を機に地元である宮城県で安心して暮らしたいと思うようになり、探しをしていたところ、近所の方が情報をくださったのをきっかけに、現在の住居地に家を建てる事となりました。

住んでみての感想

以前住んでいた地域とは違い、ご近所や地区の方との関わりが多いですし、見守り隊の方々にもお世話になっていますので安心感があります。自然の豊かさと生活利便性のバランスが良い所です。

出身地との違い。
良いところ、不満
に思うところ

以前、海外の方に町内でおすすめの場所を

尋ねられた事がありました。春ならば一目千本桜と答えますが、それ以外の季節にはどこをすすめたら良いか考えてしまった経験があります。近隣の市町のような観光地がないため、大河原と言えそこ！という場所が増える事を望みます。全国の観光地や若い方の意見を参考に、フォトジェニックスポットを設ける事も町のPRにつながると思います。

町に対する希望

今回インタビューをお受けするにあたり、過去の「町民の声」を改めて読んでみました。子育て世帯に共通する希望や、素晴らしいアイデアが掲載されていました。どれも共感できる内容で沢山のニーズがあるものの、実現化されている事があまりないように感じました。他の同世代の皆

さんも様々な意見を持つていると思うので、たくさんの方の声を吸い上げて実現に近付けていただければ嬉しく思います。

近所に大河原公園があるのですが、広い敷地にも関わらず遊具が少ないです。大人都合の遊具ばかりにするのではなく、子どもの目で遊んでみたくなるような公園を作ってほしいです。子どもたちや保育園等の先生の意見を募集して作るのも、おもしろそうですね。遊びを通して体を動かす事が、子どもの心身の健康につながるのではないかと思います。場所も良いので、もっと活用しても良い気がします。

我が家では暑い時期になると、水遊びができる場所を求めて県外に足を延ばす事もあります。水遊び用の噴水やミストならば低年齢



の子どもも遊ぶ事ができるので、夏季だけでもそのような設備があれば嬉しいです。

個人的には、季節によつて異なる表情を見せてくれる白石川・桜の木を眺めながらお茶を飲むような素敵なスペースがあれば、町外の方にも大河原町の良さを伝えられるのではないかと考えています。